

【自工会・部工会共催】 基準適正化活動 SSA (Smart Standard Activity) メディア向け説明会

一般社団法人 日本自動車工業会
一般社団法人 日本自動車部品工業会

2026年7月14日

議題	説明者
1 本説明会の趣旨、SSAとは	トヨタ自動車 西原氏 (SSA-WG自工会代表)
2 業界団体としての活動（コンプライアンス、活動の全体像など）	豊田合成 行元氏 (SSA-WG部工会代表)
3 SSA推進宣言	日産自動車 水谷氏 (SSA推進宣言小WG代表) (ガイドライン小WG代表)
4 合同即断即決会と外観基準ガイドライン	
5 フリーディスカッション	-

議題	説明者
1 本説明会の趣旨、SSAとは	トヨタ自動車 西原氏 (SSA-WG自工会代表)
2 業界団体としての活動（コンプライアンス、活動の全体像など）	豊田合成 行元氏 (SSA-WG部工会代表)
3 SSA推進宣言	日産自動車 水谷氏 (SSA推進宣言小WG代表) (ガイドライン小WG代表)
4 合同即断即決会と外観基準ガイドライン	
5 フリーディスカッション	-

25年3月：自工会・部工会連携強化テーマ：基準適正化（SSA）



25年4月：SSA合同WGを発足し、活動を推進



本日の趣旨

自工会・部工会が連携して推進してきたSSAの背景や考え方、
具体的な取組みをご紹介します、
業界全体でのSSAの現状と今後の方向性をご理解いただく。

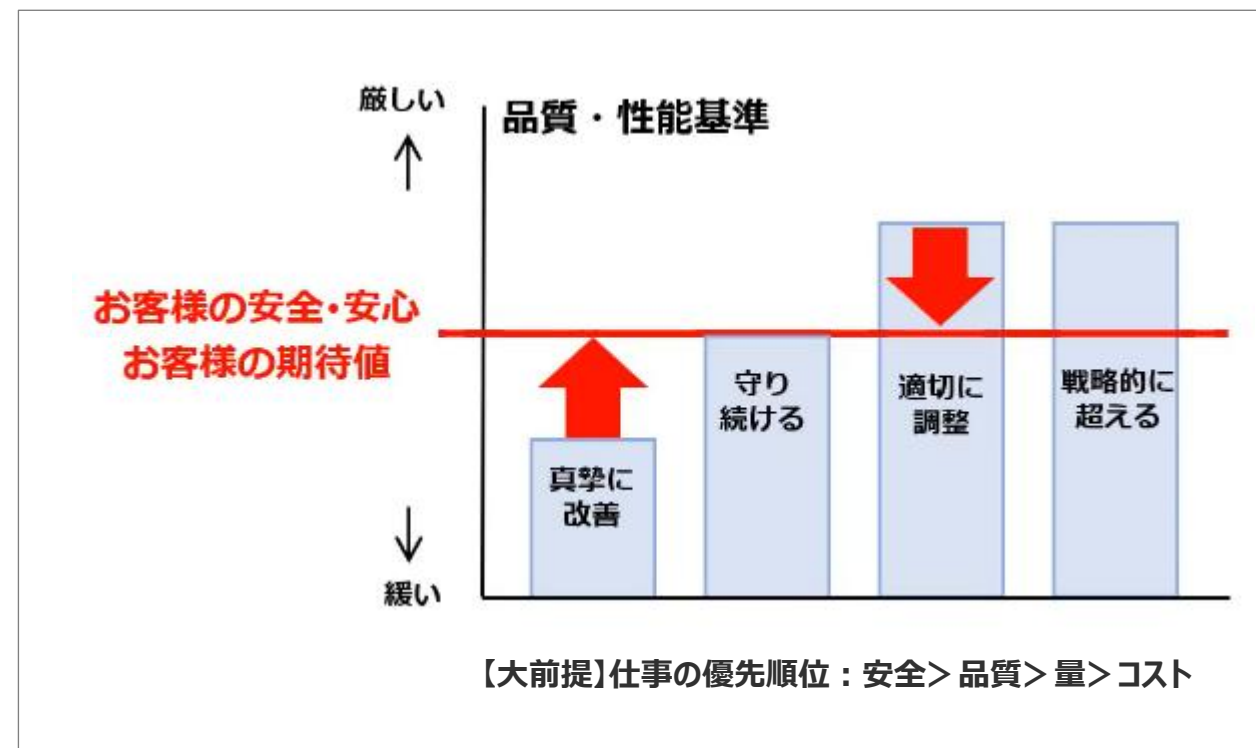
品質・性能基準適正化活動（英語名：Smart Standard Activity）

お客様の安全・安心と
お客様の期待値に合わせる

II

基準を適正化

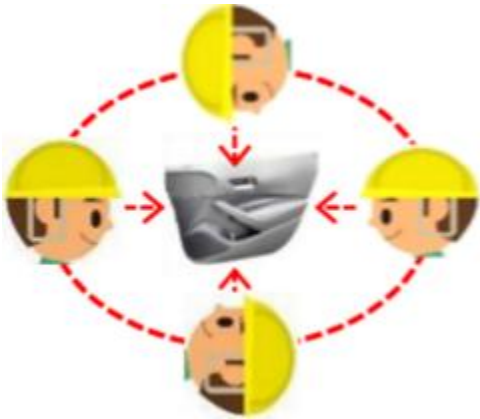
競争力あるものづくりと
ステークホルダーの笑顔



2017年末に、基準の適正化による改善活動としてトヨタが始めた

ドアトリムの外観品質基準の適正化

改善前



色々な向きから
部品を検査



不具合は
塗装手直し

改善後



SA	アームレストより上部 着座時/乗降時に良く見える部位
A	アームレストより下部 着座時/乗降時に見える部位
B	着座状態では見えにくい部位 ドア開時に見える部位
C	覗き込まないと見えない部位

お客様目線の
基準に変更

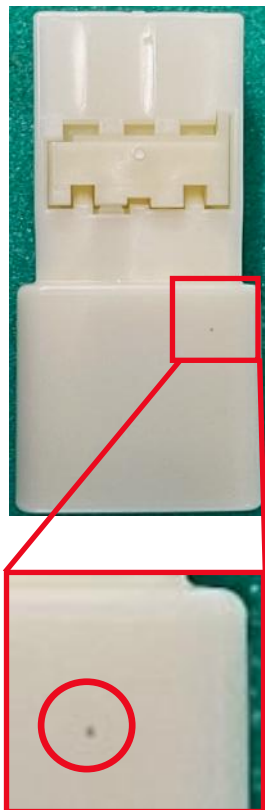


手直しを
お客様視点で
問題ない範囲に
限定できた

お客様目線で品質基準を変更して、不要な手直しをやめることが出来た

ワイヤーハーネスコネクタの外観品質基準の適正化

改善前



黒点を見つけたら全て廃棄
(機能・性能には問題ないにも関わらず)



グローバルで
年*億個検査



大量の廃棄

改善後

検査ライン、廃棄ロス削減
+



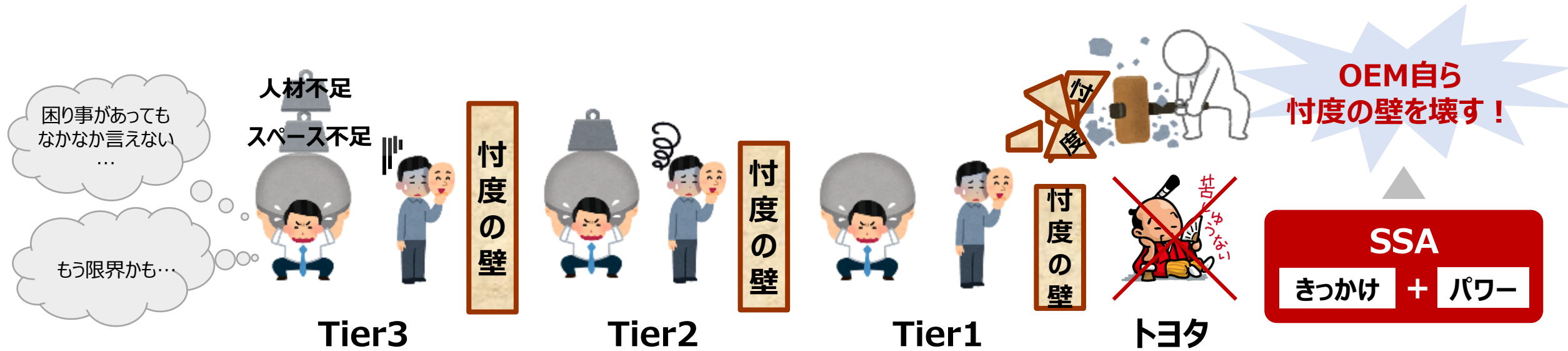
現場の笑顔

あいまいな品質基準を明確化し、過剰な検査と廃棄をやめることができた

SSAで「忖度の壁」を壊す！

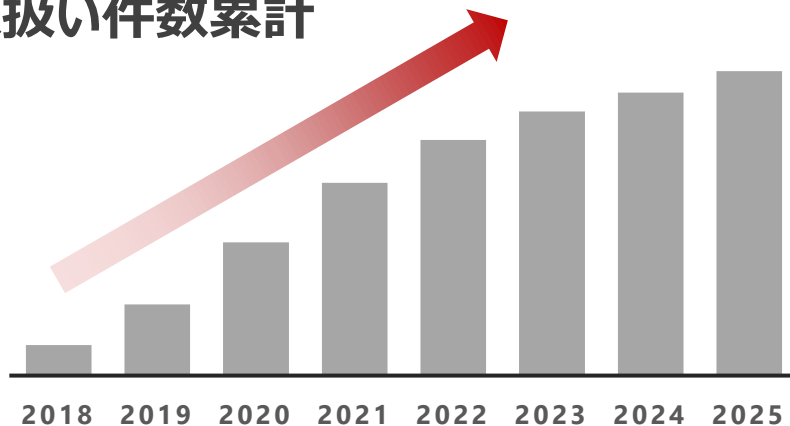
課題) 仕入先はOEMや納入先に**相談しにくい** (= 忖度の壁)

例) 「次回受注やプライスに影響しないか?」「もっと基準を厳しくされないか?」

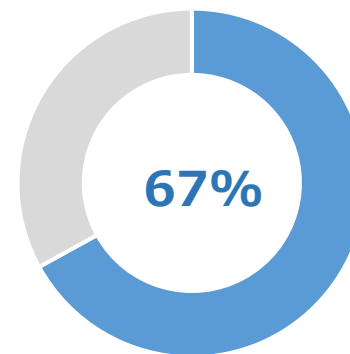


SSAは、仕入先の現場の困りごと解決の仕組み

取扱い件数累計



採用率



※ 数字は日本におけるトヨタ全社事務局の提案書受付案件を示す
この他、Tier1仕入先が自主的に判断している案件もある

毎年数多くの案件を取扱い、約3分の2が採用されている

仕入先：「トヨタ単独ではSSA効果が小さく、嬉しくない」

ダブルスタンダード



2022年4月
～

各OEMとの連携の中で展開

各OEMが主体で活動

Step1

意見交換会

SSAの主旨・
活動内容を紹介



Step2

仕入先合同訪問

SSAのメリットを
現地現物で体感



Step3

体制構築&SSA推進

■各OEM

- ・全社体制構築
- ・即断即決会
- ・困り事相談会

⇒ **新基準づくり**

■仕入先

トヨタとの活動を元に
仕入先から基準を提案

Step4

新基準発行



ダブルスタンダード解消へ

4つのStepを通じて、全乗用車OEMと個別に連携

議題	説明者
1 本説明会の趣旨、SSAとは	トヨタ自動車 西原氏 (SSA-WG自工会代表)
2 業界団体としての活動（コンプライアンス、活動の全体像など）	豊田合成 行元氏 (SSA-WG部工会代表)
3 SSA推進宣言	日産自動車 水谷氏 (SSA推進宣言小WG代表) (ガイドライン小WG代表)
4 合同即断即決会と外観基準ガイドライン	
5 フリーディスカッション	-

- 24年度より、自工会・部工会 連携強化体制を通じ、
「①適正取引の更なる推進」、「②競争力の強化」、「③新たな価値・社会要請への対応」の3つの柱で、
自工会・部工会が連携して取り組むテーマを両会で合意
- 25年度より、特に『適正取引【柱①】』と『競争力の強化【柱②】』を重点に取り組み、その両立を目指す

- (1) 自工会・部工会 正副会長懇談会（24年7月）と連携強化体制の発足（24年9月）
両会初となる正副会長同士の懇談会を開催し、より一層の連携強化をしていくことを合意
→ 連携強化体制（四半期マネジメントコミッティ、月次ステアリングコミッティ）の発足



- (2) 自工会・部工会 連携強化テーマ（25年3月に合意）

柱① 適正取引の更なる推進

価格転嫁の残課題に加え、より一層の
取り組み推進が必要な商慣習に関わる
テーマを選定

<連携強化テーマ>

- 労務費の価格転嫁
- 運送契約の適正化
- 型取引(廃棄促進、無償保管の根絶)

柱② 競争力の強化

会員企業と素形材団体からの声の
大きさに基づき、サプライチェーン全体の
競争力強化に繋がるテーマを選定

<連携強化テーマ>

- 基準適正化 (SSA)
- 外国人材の確保
- 量変動への対応力強化

柱③ 新たな価値/社会要請への対応

サプライチェーン全体で取り組むための
機運醸成を図ると共に時間軸の観点から
優先したいテーマを選定

<連携強化テーマ>

- カーボンニュートラル (CN)
- サーキュラーエコノミー
- データ連携

自工会・部工会の活動開始（2025年4月～）

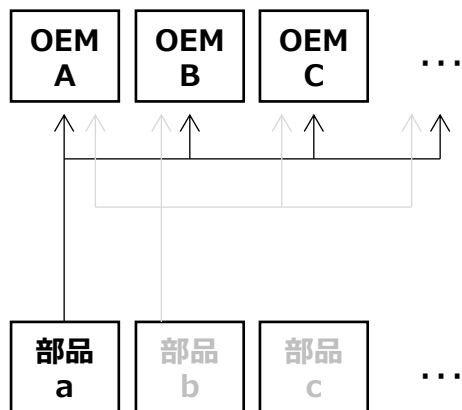
独禁法との関係を整理し、仕入先困り事の解決と、拡大に向けて取り組み

独禁法との関係の整理

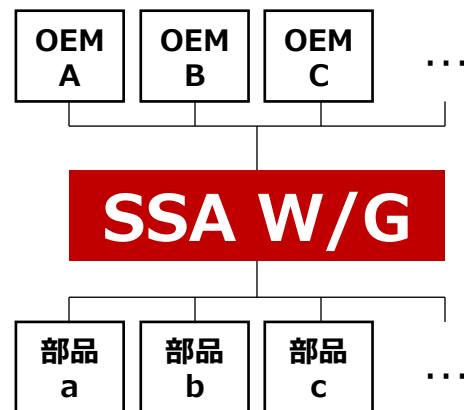
SSAの公益性や顧客への影響小を踏まえ、
複数のOEM/部品仕入先が集まって、
「基準開示」「合同即断即決会」等の議論/実施可

※外観品質などの非競争領域に限定し、取引状況等の目的外利用をしない
また議論への参画については各社で判断

【従来】1対1で議論
解決まで長期間必要



【今後】全体で議論
解決のスピード向上



SSA WG概要

自工会×部工会の連携により、SSAを拡大することで、
業界全体で競争力を強化

<メンバー>

自工会：事務局+全OEM（14社）

部工会：事務局+代表（4社）

<活動の柱>

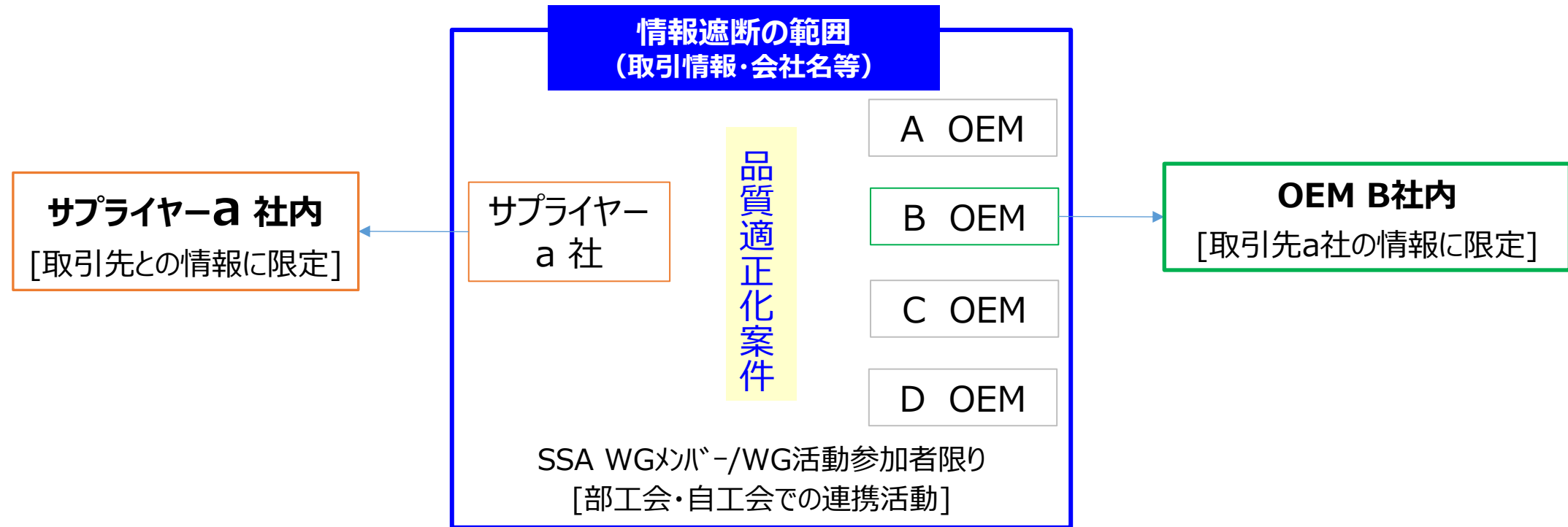
① 業界全体のSSAの活性化

- 発注者の立場で活動し、業界全体の風土・機運を醸成
- 1×1の個社におけるSSAの活動推進

② 仕入先のスピーディな困りごと解決

- OEM・Tier1間の曖昧な基準の撲滅
- N×Nの基準統一による複数スタンダードの解消

- ・自工会・部工会(事業者団体)が連携して行う情報共有では独占禁止法に抵触しないよう留意が必要。
 - ・特に、取引情報については、本WGメンバー/WG活動の参加者限りでの取り扱いに留意。
- ※SSAで取り扱う情報(各種基準等)・取引情報ともに機微情報にあたるが、**直接顧客選択を阻害するものではなく**、本WGメンバー/WG活動参加者限りであれば、**独禁法解釈上の開示懸念なし**。したがって、本活動にあたり知ることとなった情報(取引情報、会社名等)は、本WGメンバー/WG活動の参加者限りで扱い、社内での展開を控えることを徹底する。



- ・詳細は独占禁止法及び公正取引委員会が定めた「事業者団体の活動に関する独占禁止法上の指針(詳細リンク先)」にてご確認お願い致します。

<SSA活動の性質・目的>

- ・業界全体での競争力強化/課題解決を目指した**公益性の高い活動**
- ・顧客の購買選択に影響しない領域を活動範囲とし、**競争を阻害しない活動とする**

<具体的な留意事項>

公正な競争を阻害する情報交換とならないよう、下記2点に留意して活動

■ 競争領域に関係する項目について、定量化/数値化された下記のような議論を行わない。

- ① 部品の調達価格や価格差に触れるような議論はしない
- ② 将来の技術・調達戦略の関わる情報共有は行わない
- ③ 取引条件に関わるような議論は行わない
- ④ 生産数量に関わるような情報は見ない/議論しない
- ⑤ 性能など公表されてないノウハウの情報共有は行わない

■ 一方で、顧客の購買選択に影響を与えない項目＝非競争領域（キズやブツなどの外観品質、顧客の購買選択に影響を与えない製造案件など）については、目的の範囲内で具体的な議論を行っても問題ない。

※本活動で得た情報(取引状況や基準など)は、WGメンバー/WG活動の参加者限りで扱い、目的外利用をしない

但し、個社にとって競争領域にあたると見なされた場合には、各社にて議論への参画について判断の上、活動を行う。

【活動の柱①】 業界全体のSSAの活性化

- 業界全体の風土・機運を醸成
- 1 × 1 の個社におけるSSAの活動推進

＜SSA推進宣言＞ ['26/3/31発行](#)

両会が発注者の立場で、SSAを積極的に推進することを表明することで、受注者であるTier 2 以降が安心して困りごとの打ち上げができる風土を醸成

議題 3

＜SSA取組事例集＞ ['26/6/24発行](#)

先行して取り組みが進んでいる部品メーカーの過去の実取組事例を取り纏め、まだSSAの取り組みができていない企業の参考にしていただく

本日割愛

【活動の柱②】 仕入先のスピーディな困りごと解決

- 曖昧な基準の撲滅
- N×Nの基準統一による複数スタンダードの解消

＜合同即断即決会＞

OEM14社が一同に会し、部品メーカーからの提案をその場で判断する会合を開催（計 3 回）
※今後も年 2 回のペースで開催を予定

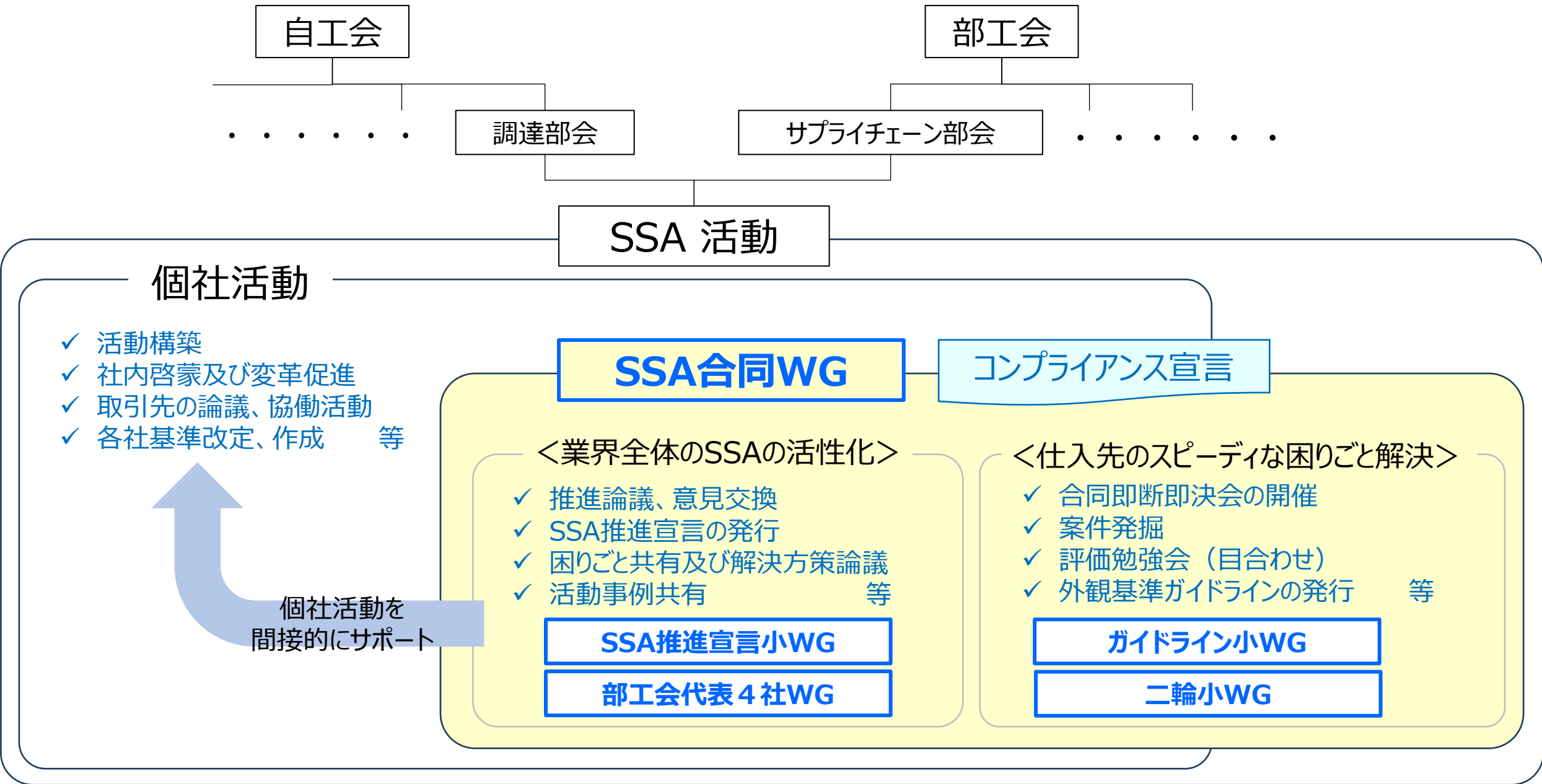
議題 4

結果を可視化

＜外観基準ガイドライン＞

合同即断即決会の結果に基づき、自動車用部品の機能・性能に影響のない外観状態の一般的な要求仕様を示すものとして、作成

議題 4



議題	説明者
1 本説明会の趣旨、SSAとは	トヨタ自動車 西原氏 (SSA-WG自工会代表)
2 業界団体としての活動（コンプライアンス、活動の全体像など）	豊田合成 行元氏 (SSA-WG部工会代表)
3 SSA推進宣言	日産自動車 水谷氏 (SSA推進宣言小WG代表) (ガイドライン小WG代表)
4 合同即断即決会と外観基準ガイドライン	
5 フリーディスカッション	-

【活動の柱①】

業界全体のSSAの活性化

- 業界全体の風土・機運を醸成
- 1 × 1 の個社におけるSSAの活動推進

<SSA推進宣言> '26/3/31発行

両会が発注者の立場で、SSAを積極的に推進することを表明することで、受注者であるTier 2 以降が安心して困りごとの打ち上げができる風土を醸成

議題 3

<SSA取組事例集> '26/6/24発行

先行して取り組みが進んでいる部品メーカーの過去の実例を取り纏め、まだSSAの取り組みができていない企業の参考にしていただく

本日割愛

【活動の柱②】

仕入先のスピーディな困りごと解決

- 曖昧な基準の撲滅
- N×Nの基準統一による複数スタンダードの解消

<合同即断即決会>

OEM14社が一同に会し、部品メーカーからの提案をその場で判断する会合を開催（計 3 回）
※今後も年 2 回のペースで開催を予定

議題 4

結果を可視化

<外観基準ガイドライン>

合同即断即決会の結果に基づき、自動車用部品の機能・性能に影響のない外観状態の一般的な要求仕様を示すものとして、作成

議題 4



個社活動

- ✓ 活動構築
- ✓ 社内啓蒙
及び 変革促進
- ✓ 取引先の論議、協働活動
- ✓ 各社基準改定、作成等

SSA WG活動

＜業界全体のSSAの活性化＞

- ✓ 推進論議、意見交換
 - ✓ 困りごと共有
及び解決方策論議
 - ✓ 活動事例共有
- 等

コンプライアンス宣言

＜仕入先のスピーディな困りごと解決＞

- ✓ **合同即断即決会**
- ✓ 案件発掘
- ✓ 評価勉強会（目合わせ）

ガイドライン

等

目的：自動車産業の競争力強化に向けて、 業界として歩みを揃えて取り組んで行く機運を醸成

- 発注者の立場で受注者が安心して困りごとの打ち上げや提案ができる環境作り
- 領域を広く、Tier深くまで活動を浸透させるための“共通の理解”作り

2026年3月31日

会員企業代表者各位

SSA : Smart Standard Activity

平素より、日本自動車工業会（以下、自工会）と部工業会（以下、部工業会）は、日本の自動車産業の発展に貢献し、誠意をこめてご協力をお願いしております。

自工会と部工業会は、日本の自動車産業の発展に貢献し、誠意をこめてご協力をお願いしております。会長から実務担当者に至るまで、緊密な連携のもと、SSA : Smart Standard Activityの推進に努めています。

SSA（Smart Standard Activity：基準・標準）は、エンドユーザー視点で根本から見直し、検査や作業を削減し、そこで生まれた時間を「新価値創造」に活用し、日本の自動車産業全体の競争力を向上させることを目的としています。

この度、自工会、部工業会は、発注者としてSSAを積極的に推進し、日本の強みである広く深い自動車サプライチェーン全体にこの活動を浸透させるため、本宣言を発出いたしました。

つきましては、会員の皆様には、この宣言にご賛同いただき、各社でのSSAの積極的なご協力を申し上げます。

今後も、自工会・部工業会は合同WGの活動を通じて、SSAの活動事例や各種ツールなど、会員の皆様が自社でのSSAの推進に役立つようなものを整備していくことを検討しております。引き続き本活動へのご理解を賜り、各社での主体的なお取組みをどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

はじめに
背景

自動車産業は、電動化・自動運転・コネクテッド化、さらには環境対応など、100年に一度の大きな変革期にあります。グローバル競争の激化や深刻な人手不足など、生産を維持・向上させるためには、生産工程の効率化、品質の向上、コスト削減など、様々な課題を抱えています。

SSAとは

SSAは、既存の基準を前提に部分的な改善を施す従来のアプローチとは異なり、曖昧な品質や過剰な要求事項などを、エンドユーザー視点で根本から見直す取り組みです。また、業界全体の風土改革を伴う取り組みであり、現行基準がエンドユーザーの期待値に満たない場合、現行基準をエンドユーザーの期待値に合わせるための取り組みを行います。

業界全体の風土改革を伴う取り組みであり、現行基準がエンドユーザーの期待値に満たない場合、現行基準をエンドユーザーの期待値に合わせるための取り組みを行います。

業界全体の風土改革を伴う取り組みであり、現行基準がエンドユーザーの期待値に満たない場合、現行基準をエンドユーザーの期待値に合わせるための取り組みを行います。

業界全体の風土改革を伴う取り組みであり、現行基準がエンドユーザーの期待値に満たない場合、現行基準をエンドユーザーの期待値に合わせるための取り組みを行います。

業界全体の風土改革を伴う取り組みであり、現行基準がエンドユーザーの期待値に満たない場合、現行基準をエンドユーザーの期待値に合わせるための取り組みを行います。

業界全体の風土改革を伴う取り組みであり、現行基準がエンドユーザーの期待値に満たない場合、現行基準をエンドユーザーの期待値に合わせるための取り組みを行います。

取引先から基準適正化に関する困りごとの相談や提案等が出るよう、発注者自身が直接困りごとをヒアリングする場を設けるなど、能動的に働きかけます。また、提案があった場合には真摯に耳を傾ける姿勢を持ち、取引先と丁寧に対話を重ねながら、改善の糸口を共に探していきます。

※日本自動車部品工業会公式HP（<https://www.japia.or.jp>）より

活動を通じて、エンドユーザーであるお客様視点で基準を発注者・受注者双方で見直し、適正化することで工程のスリム化等を図り、改善の原資を生み出します。そして、その原資をモノづくりの技術革新・進化につなげ、新たな価値創出やスピード向上を図ることで、日本の自動車産業がグローバル市場で持続的に競争力を発揮し得る産業基盤の確立を目指します。



以上

目的：実担当者同士での事例紹介や意見交換で活動実感

**理解深化
活動促進の力 共有**

日時 2026年6月17日

場所 スバル本社

参加 27社（OEM3社、部品メーカー24社） 128名

※ ホスト除く



議題	説明者
1 本説明会の趣旨、SSAとは	トヨタ自動車 西原氏 (SSA-WG自工会代表)
2 業界団体としての活動（コンプライアンス、活動の全体像など）	豊田合成 行元氏 (SSA-WG部工会代表)
3 SSA推進宣言	日産自動車 水谷氏 (SSA推進宣言小WG代表) (ガイドライン小WG代表)
4 合同即断即決会と外観基準ガイドライン	
5 フリーディスカッション	-

【活動の柱①】 業界全体のSSAの活性化

- 業界全体の風土・機運を醸成
- 1 × 1 の個社におけるSSAの活動推進

議題 3

<SSA推進宣言> '26/3/31発行

両会が発注者の立場で、SSAを積極的に推進することを表明することで、受注者であるTier 2 以降が安心して困りごとの打ち上げができる風土を醸成

本日割愛

<SSA取組事例集> '26/6/24発行

先行して取り組みが進んでいる部品メーカーの過去の実例を取り纏め、まだSSAの取り組みができていない企業の参考にしていただく

【活動の柱②】 仕入先のスピーディな困りごと解決

- 曖昧な基準の撲滅
- N×Nの基準統一による複数スタンダードの解消

議題 4

<合同即断即決会>

OEM14社が一同に会し、部品メーカーからの提案をその場で判断する会合を開催（計 3 回）
※今後も年 2 回のペースで開催を予定

結果を可視化

議題 4

<外観基準ガイドライン>

合同即断即決会の結果に基づき、自動車用部品の機能・性能に影響のない外観状態の一般的な要求仕様を示すものとして、作成

目的：“現物”に触れ、“面直”で意見交換

日時 2026年7月2日

場所 マツダ本社

参加 48社（OEM12社、部品メーカー36社） 222名

※ ホスト除く

**仲間づくり
目線合わせ**



目的： **複数スタンダードの解消**に向けて、

業界全体で適正化の考え方を共有

※ “品質基準”は個社で作成

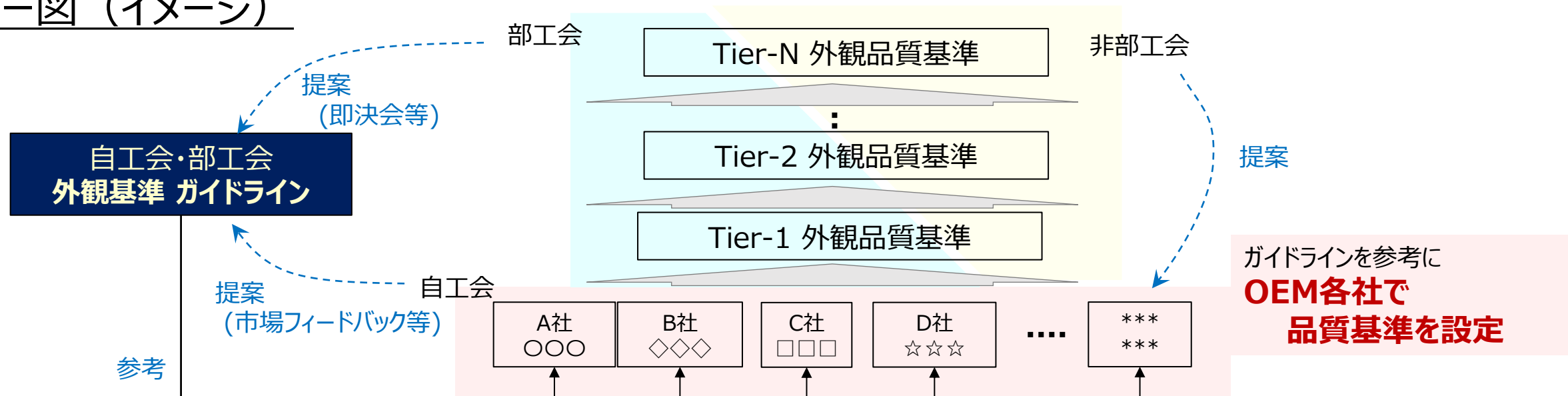
適正な競争を阻害しない範囲での“外観状態”に共通のガイドを設定することにより、自動車産業のサプライチェーンに存在する構造的な課題を解決し、業界全体の競争力強化を図る

—“外観基準ガイドライン” 本文より

✓ 現場提案（即決会、日常コミュニケーション等）の反映

✓ 活動の理解、言葉合わせ

フロー図（イメージ）



ガイドライン（お客様目線の反映「ゾーン区分」抜粋）

安全・安心、クルマの機能・性能に影響がないことを前提に
競争を阻害範囲での“見た目の状態の一部(外観品質)”にガイドを設定

<参考 ドアトリム>



現物確認、議論を重ね
ガイドラインを作成

区分	補足（イメージ）
S	非常によく目に留まる
A	通常に使用する姿勢で良く見える
B	しゃがむ等の姿勢変更をすると見える
C	開閉動作等をするときと見ることができる
D	部品に重なる、車両の裏面等通常の使用状態では見えない

	FY25	FY26		FY27～
即断会	'25-6 ● #1 ゴムシール ワイヤハーネス ワイパー シートベルト	'25-12 ● #2 外装(塗装) 天井 カーペット ランプ ステアリング メーター パネル(内板)	'26-7 ● #3 シート 内装(成形、表皮) ワイパー パネル(準外板)	('26-12) ○ #4 TBD
			<ガイドラインの充足> ✓ “考え方”の補充 (二輪視点 等) ✓ 部品の追加 (シャシー、パワトレ部品含む) ✓ 現象の追加、改定 等	
ガイドライン			'26-4 ● 初版 ゴムシール ワイヤハーネス 外装(塗装) 天井 カーペット	('26-8) ● 第2版 ワイパー ランプ ステアリング メーター パネル(内板、準外板) シート、シートベルト 内装(成形、表皮)
			○ 第3版 TBD 即断会#4と連携	○ 第4版 TBD

■ 業界全体へのSSAの浸透

- SSA推進宣言を活用し、各社で活動を拡大
- Tierの深いサプライチェーンまで取組みを浸透

■ 業界全体の競争力強化

- 現場課題の解決を通じた改善活動の拡大
- サプライチェーン全体の生産性向上



「声を上げれば変わる」ことが実感できる風土を業界全体に広げる

議題	説明者
1 本説明会の趣旨、SSAとは	トヨタ自動車 西原氏 (SSA-WG自工会代表)
2 業界団体としての活動（コンプライアンス、活動の全体像など）	豊田合成 行元氏 (SSA-WG部工会代表)
3 SSA推進宣言	日産自動車 水谷氏 (SSA推進宣言小WG代表) (ガイドライン小WG代表)
4 合同即断即決会と外観基準ガイドライン	
5 フリーディスカッション	-